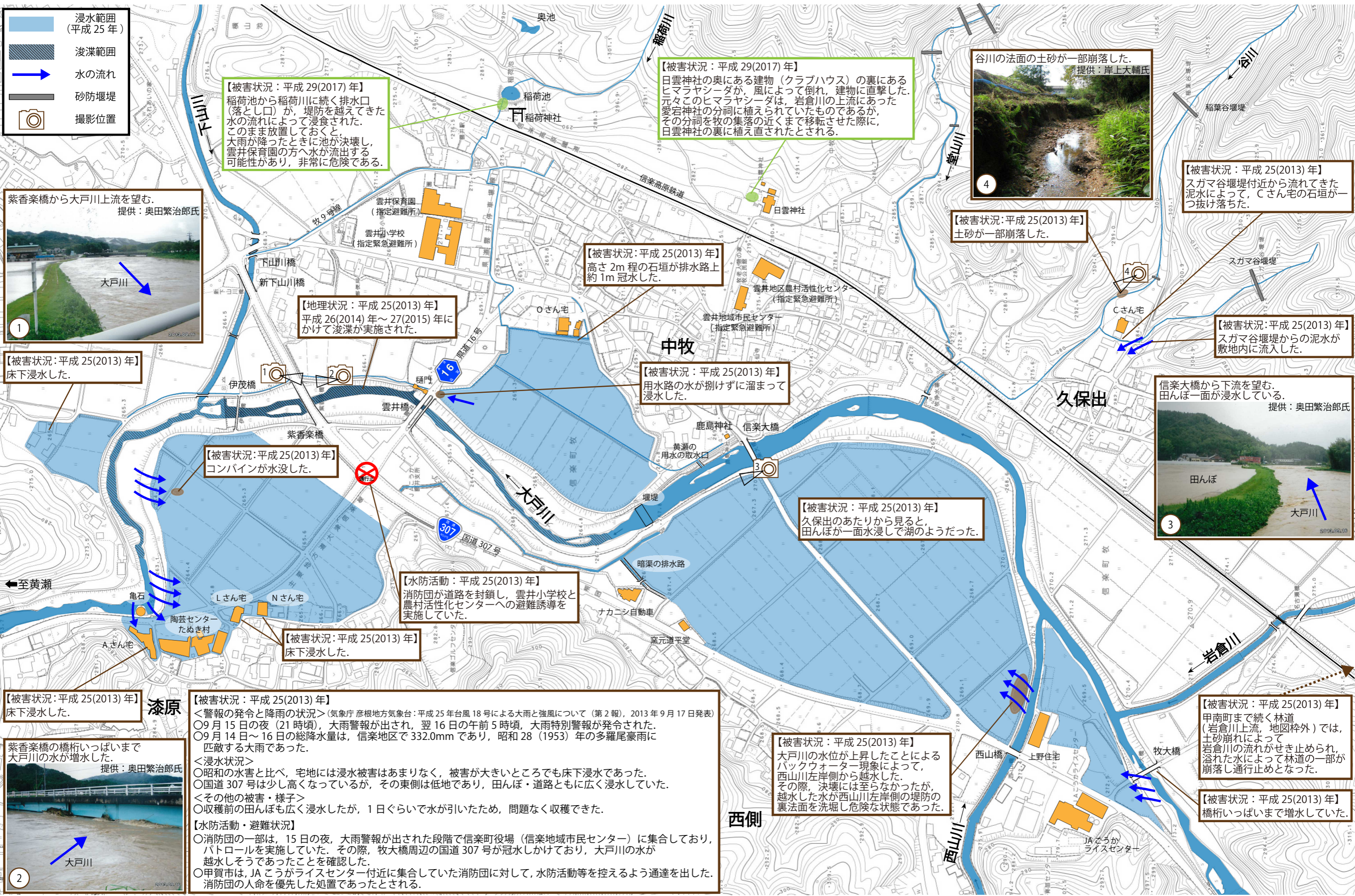


甲賀市信楽町牧水害履歴マップ③ 平成 25(2013)年 9月・台風 18号 / 平成 29(2017)年 10月・台風 21号

令和元年(2019)年9月11日に雲井地区農村活性化センターで行った聞き取り調査に基づき作成

作成 関西大学 景観研究室 (甲賀市信楽町都市計画地区図上加筆) 0m 50m 100m



- 浸水範囲 (平成 25 年)
- 浚渫範囲
- 水の流れ
- 砂防堰堤
- 撮影位置

【被害状況：平成 29(2017)年】
 稲荷池から稲荷川に続く排水口(落とし口)が、堤防を越えてきた水の流れによって浸食された。そのまま放置しておく、大雨が降ったときに池が決壊し、雲井保育園の方へ水が流出する可能性があり、非常に危険である。

【被害状況：平成 29(2017)年】
 日雲神社の奥にある建物(クラブハウス)の裏にあるヒマラヤシーダが、風によって倒れ、建物に直撃した。元々このヒマラヤシーダは、岩倉川の上流にあった愛宕神社の分祠に植えられていたものであるが、その分祠を牧の集落の近くまで移転させた際に、日雲神社の裏に植え直されたとされる。



【被害状況：平成 25(2013)年】
 スガマ谷堰堤付近から流れてきた泥水によって、Cさん宅の石垣が一つ抜け落ちた。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 土砂が一部崩落した。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 高さ 2m 程の石垣が排水路上約 1m 冠水した。

【地理状況：平成 25(2013)年】
 平成 26(2014)年～27(2015)年にかけて浚渫が実施された。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 用水路の水が捌けずに溜まって浸水した。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 スガマ谷堰堤からの泥水が敷地内に流入した。



【被害状況：平成 25(2013)年】
 床下浸水した。



【被害状況：平成 25(2013)年】
 久保出のあたりからみると、田んぼが一面水浸しで湖のようだった。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 コンパインが水没した。

【水防活動：平成 25(2013)年】
 消防団が道路を封鎖し、雲井小学校と農村活性化センターへの避難誘導を実施していた。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 床下浸水した。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 床下浸水した。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 <警報の発令と降雨の状況> (気象庁彦根地方気象台：平成 25 年台風 18 号による大雨と強風について (第 2 報), 2013 年 9 月 17 日発表)
 ○9 月 15 日の夜 (21 時頃), 大雨警報が出され、翌 16 日の午前 5 時頃, 大雨特別警報が発令された。
 ○9 月 14 日～16 日の総降水量は、信楽地区で 332.0mm であり、昭和 28 (1953) 年の多羅尾豪雨に匹敵する大雨であった。
 <浸水状況>
 ○昭和の水害と比べ、宅地には浸水被害はあまりなく、被害が大きいところでも床下浸水であった。
 ○国道 307 号は少し高くなっているが、その東側は低地であり、田んぼ・道路ともに広く浸水していた。
 <その他の被害・様子>
 ○収穫前の田んぼも広く浸水したが、1 日ぐらいで水が引いたため、問題なく収穫できた。
 【水防活動・避難状況】
 ○消防団の一部は、15 日の夜、大雨警報が出された段階で信楽町役場(信楽地域市民センター)に集合しており、パトロールを実施していた。その際、牧大橋周辺の国道 307 号が冠水しかけており、大戸川の水が越水しそうであったことを確認した。
 ○甲賀市は、JA こうがライスセンター付近に集合していた消防団に対して、水防活動等を控えるよう通達を出した。消防団の人命を優先した処置であったとされる。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 大戸川の水位が上昇したことによるバックウォーター現象によって、西山川左岸側から越水した。その際、決壊には至らなかったが、越水した水が西山川左岸側の堤防の裏法面を洗掘し危険な状態であった。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 甲南町まで続く林道(岩倉川上流、地図枠外)では、土砂崩れによって岩倉川の流れがせき止められ、溢れた水によって林道の一部が崩落し通行止めとなった。

【被害状況：平成 25(2013)年】
 橋桁いっぱいまで増水していた。



【被害状況：平成 25(2013)年】
 床下浸水した。